

スーパーひいばあちゃん あれから一年

埼玉県 さいたま市立大牧小学校 四年

長尾 ながお いずみ

私には九十八才のひいばあちゃんがあります。昨年、いつもありがとう作文コンクールで入選したスーパーひいばあちゃんです。あれから一年、少しずつ出来ない事がふえてきました。東京での一人ぐらしは続いていますがおばあちゃんがねとまりをしてお世話をするようになりました。毎朝のお化粧は、洗顔後、クリームをぬるだけになりました。食事作りは、宅配弁当になりました。でも、朝と夜、仏壇の前で全文を唱えていた般若心経は、短縮版で続いています。そして、今でも、私達の健康や幸せを写真のひいおじちゃんにお話をしてお願いをしてくれています。

今まで出来ていた事が出来なくなる。私は、想像するだけで怖いし、不安と悲しみでいっぱいになります。私だったら、毎日、クヨクヨして、自分の事しか考えられなくなるはずですが、私の知っているひいばあちゃんはいつも笑顔です。私達が遊びに行き、カードゲームをしている時、一緒になって顔をくしゅくしゅにして笑っています。電話でも、

「元氣かい？ いずみちゃんは、お勉強もよく頑張っているんだってね。えらいね。」

と私の事を気にかけて、明るい声で沢山ほめてくれます。いつも優しくして笑顔いっぱいです。

しかし、今年の七月、ひいばあちゃんは熱中症になり、たおれて病院に行きました。

「あと3か月かもしれません。夏休みに、お孫さんやひ孫さんに

会わせてあげて下さい。」

と先生から言われたそうです。私は、なかなか遊びに行かれないコロナと熱中症が、今まで以上に嫌になりました。怖くなりました。けれど数日後、ひいばあちゃんは、少しずつ回復していったのです。すると、先生が

「あと3か月は、撤回します。私は、今まで何百人以上の高齢者を見てきましたが、信じられない回復力です。ものすごいスーパー遣伝子を持っていますね」と言ったそうです。先生も認める、本物のスーパーひいばあちゃんです！

八月になった今も、一人ぐらしは続いていますすが、とても疲れるようでねている事が多くなりました。出来ない事もふえているそうです。でも、夏休みに会いに行つた時、いつもと変わらない笑顔のひいばあちゃんがいきました。色々とお話もできて、嬉しかったです。「不安の先取りはしない。クヨクヨしてしまう事も沢山あるけど、今、自分の出来る事に感謝してがんばっているんだよ」ひいばあちゃんの言葉です。すごいと思います。私は、仲良しの友達とときまわずくった時、とてもクヨクヨしてしまいます。でも、これからは不安の先取りはしないで、前に進もう！と思います。ひいばあちゃんとすごせる時間は、私にとっても楽しく、大切な時です。ひいばあちゃん、また一緒にかき氷食べようね！いつも笑顔でいてくれてありがとう！